

和光



発行 〒894-0007 鹿児島県奄美市名瀬和光町1700番地

国立療養所 奄美和光園

電話 (0997) 52-6311 FAX (0997) 53-6230

令和6年5月1日
(2024)

第133号

■表紙	1
■患者さんの権利	2
■退職者・異動者挨拶	3～4
■新人紹介	5～7
■笑顔あふれるお花見会	8
■節分豆まき	9
■令和5年度県内めぐり	10～13
■まほろば大和ウォーキング大会	14

■水エールウォッチング	15
■消防訓練(夜間想定)	16
■石川県能登半島地震の災害派遣	17～19
■感染管理認定看護師の資格を取得して	20
■医療安全実践報告会	20～21
■看護研究発表会	21
■NST News Letter	22
■令和5年度診療統計	23
■人事異動・和光園日誌・編集後記	24

基本理念

私たちは、入所者一人ひとりの生命の尊厳と人権を守り、豊かな自然環境につつまれた穏やかで心豊かな療養生活と、安全で安心できる医療を提供します。



デイゴと教会 令和6年4月 園内撮影

基本方針

1. 入所者の終の棲家として心穏やかな暮らしを支えることを基本とします
2. 入所者自治会とよく話し合い 入所者本位の運営に努めます
3. 入所者一人ひとりの日々の変化にきめ細かく対応いたします
4. ハンセン病による後遺症や合併症の対策をしっかりと行います
5. 入所者が高齢化していることを念頭に置き 健康保持の活動や生活を支える医療さらには感染予防・認知症対策に重点を置きます
6. 地域医療とも連携し 適切で標準的な医療の提供に努めます
7. ハンセン病に対する正しい知識を普及させるため 啓発活動に努めます
8. 開かれた療養所となることを目的に地域社会との交流促進に努めます
9. 入所者の健康と安全な生活に貢献できるようすべての職員の質の向上に努めます

患者さんの権利

★人格を尊重した医療を受ける権利

誰でも、どんな病気でも、安全で良質な医療を平等に受ける権利と、個人の人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力関係のもとで医療を受ける権利があります。

★医療に関する十分な説明を受ける権利

検査、治療等について、あるいは他の治療方法について、納得されるまで十分な説明を受ける権利があります。

★個人情報保護の権利

診療の過程で得られた個人情報やプライバシーが守られ、個人の尊厳が保たれる権利があります。

★診療情報の提供を受ける権利

ご自身の診療録の開示を請求する権利があります。

★検査や治療等の自己決定権の権利

検査、治療法などの選択、あるいは拒否をする権利があります。
また、セカンドオピニオンを受ける権利があります。

患者の皆様へ

- ご自分の健康に関する事を詳しく正確にお話し下さい。
- あらゆる危険を回避するために職員との連携にご協力下さい。
- よりよい医療・療養・生活環境を維持するために入院の規則をお守り下さい。



国立療養所 奄美和光園

令和3年10月 改訂

退職者・異動者挨拶

お世話になりました

奄美和光園 24 代目事務長を務めさせていただいた瀬之口 眞澄でございます。

令和 5 年に還暦を迎えましたが、支えていただいた入所者の皆さま、OB・OG の皆様、そして職員の皆様のおかげで、無事退職の日を迎えることができました。

こうして御挨拶させていただく機会をいただき、心より御礼申しあげます。

約 40 年に渡る、国立施設での事務職としての人生を送らせていただきましたが、振り返ってみますと、「光陰矢の如し」と言うとおり、あっという間の出来事だったように思います。

奄美和光園での勤務は 2 年間という月日ではございましたが、命の尊さ、感謝の気持ちを思い起こさせていただいた大変有意義な時間であったと思っております。

沢山の思い出が出来ましたが、一番の思い出は、やはり、園の創立 80 周年記念事業に携われた事です。

幾多の方々が築いてこられた奄美和光園の伝統と歴史の重みを感じつつ、当事業の統括役を仰せつかる事が出来ましたが、世の中がアフターコロナに一挙に舵をきった年とは言え、感染の脅威が完全に払拭されたわけではなく、式典挙行の規模としては、今から 10 年前の当園 70 周年記念の華や

かさには及ばぬものの、規制をかける中で、何ができるか、すべきか、都度、皆様のお知恵を拝借することとなりました。

創立記念誌の編集についても然り、やる以上は、70 周年記念誌を超えるものを作りたいという思いが、時として先走ってしまい、試行錯誤、紆余曲折の連続であったように思いますが、こちらについても、常に、まわりの方々から支えていただいている事に気づきました。

一つ、心残りだったのは、世界遺産の奄美の大自然を、もう少し散策して楽しめばよかったという点ですが、またいつの日か必ずプライベートで、奄美大島を訪れたいと思います。

入所者皆さま、行事の時、お買い物の時の、あの笑顔、忘れません。

素敵な笑顔、ありがとうございました。

今春からは、生まれ育った福岡県に帰ります。しばらくは、間違いなく、奄美地方の当たらない(?) 天気予報が気になるはずですが、奄美和光園皆様と時を刻めたことは、私の今後の人生の糧となります。

皆様、どうぞお元気で！最高の思い出をありがとうございました。

事務長 瀬之口 眞澄

お世話になりました

この度、退職させて頂くこととなりました。昭和 62 年 10 月 1 日の入職以来、お世話になりました。

長い和光園勤務の中で、いろいろな人と出会い、別れがあり、時が過ぎてしまいました。無事こうして退職を迎えられたのも、入所者、先輩職員方の温かい励ましのお陰だと心から感謝申し上げます。和光園では

給食の方で仕事をさせて頂き、微力ながら皆様のお力になれたかと思います。

最後に、入所者の皆様、お元気でいて下さい。長い間、私を支えて頂いたすべての皆様に感謝申し上げます。そして、和光園の更なる発展を心よりお祈りします。

調理師 荒垣 満雄

お世話になりました

令和 3 年 5 月よりあまみ保育園の方で保育助手として務めさせて頂き、毎日仕事に行く事が楽しみでした。たくさんお世話

になりました。ありがとうございました。

保育士 昇 香

お世話になりました

3年間給食係長として勤務させていただきました。長く国病・療養所には勤務しているものの、NHOでは給食係長の配置がない事あって初めての係であり、初心に戻っての日々でした。また、離島であり入所者数がとても少ないという、他からみれば特殊な施設ならではの難しい面もありました。その点は今後も続く（強まる）課題ですので、今後が気になるところです。

島での生活においては海岸まで山が迫る地形や、天気がころころ変わるのが奄美らしいと感じました。次の勤務地は沖縄で

完全に冬は無い地になります。冬が無いのは寂しく感じる事はあるものの、少し寒くなると暖かい方がいいなと思ったりもするものです。

気が付けば国病・療養所に勤める事の先はもう短くなってきましたが、残り数年も頑張ればと思います。お世話になりました。

給食係長 田中 信

お世話になりました

令和2年に赴任して4年間会計係長として勤務させていただき、大変お世話になりました。

国の会計の仕事をするのは、20年ぶり位で最初の頃は、皆に手伝っていただきなんとか勤務することができありがとうございました。奄美での4年間は大きな台風もこずすごしやすかったです、海がしけ

るとフェリーの運行が止まりスーパーの食料品の棚がからになってしまうのは驚きました。

最後に入所者の皆さん、職員の皆さんお元気で頑張ってください。

会計係長 石丸 和彦

お世話になりました

令和4年4月から奄美和光園に赴任し、あっという間の2年でした。離島生活は初めてで、どんな感じなんだろう……と赴任時は不安でいっぱいでしたが、いざ来てみると皆さん本当に優しく、台風が来るとき以外はとても穏やかな気持ちで過ごすことができました。

次の勤務地は和光園とは機能が全然違う施設なのでまず慣れるのが大変そうです

が、奄美で英気を養った分、必死に頑張ろうと思います。

短い間でしたがお世話になりました。皆さん、どうかいつまでも元気で過ごしてください。

栄養係長 秋山 優太

お世話になりました

和光園では、3年間充実した日々を過ごすことが出来ました。入所者の皆さんの優しさにふれあいながら、人と接する時は、どういう心を持って接しないといけないかを入所者の皆さんに教わったと思っており

ます。本当にありがとうございました。この場をお借りして、御礼申し上げます。

理学療法士 西島 卓生

新人紹介

事務長 上山 卓朗 (ウエヤマ タクロウ)



令和6年4月1日付け、星塚敬愛園より参りました上山と申します。

簡単ではございますが自己紹介をさせていただきます。出身は鹿児島市で最初の勤務地は霧島市隼人町にあります霧島病院（現在の霧島市立医師会医療センター）に平成3年に採用された後、平成12年、国立病院・療養所の再編成・統廃合により九州循環器病センターに異動、その後、九州管内を転勤し、別府病院、都城病院、九州医療センター、熊本医療センター、東佐賀病院、鹿児島医療センター、星塚敬愛園で勤務経験を積んで参りました。同じ年齢の転勤者に比べると転勤先が少ないのかなと思います。なお、前施設を含め国立ハンセン病療養所勤務は7年目となります。

奄美大島での生活は初めてであり、3月30日に自家用車とともにフェリーで鹿児島新港を発ちましたが、船上から遠ざかる桜島を眺めつつ胸に熱くこみ上げるものがありました。

赴任して2週間が経過しますが、奄美大島の印象として離島であることを感じさせない名瀬の街並み、新築したばかりの市役所、ショッピングセンター、官公庁、商店街や飲み屋街の賑やかさがあげられます。さらに平成17年に完成した和光トンネルにより当園と市街地のアクセスは大幅に改善されました。

次に、入所者の皆さんのことについて、これはどの園でも共通することですが平均年齢が90歳前後となり超高齢化を迎え、ますます職員の手助けが必要となっていること、皆さんがご存命のうちに何をしてあげられるか？ということが課題となっています。

不運にも令和2年3月より新型コロナが蔓延し、ワクチンや治療薬もない中で不安な日々を送られたことと思います。また外出制限や園内行事の自粛をせざるを得ず、星塚敬愛園でも入所者から“さびしい”という声が強く聞かれました。コロナについては昨年5月より感染症5類となり、今後は自粛して感染防止するのではなく、外出やレクリエーションは通常どおりしつつ感染対策を十分に行う“ウィズコロナ”の考え方に移行してきています。当園でも通常モードでの行事開催ができればと思います。また私自身、下手くそながらカラオケで歌うことが大好きです。入所者の皆さんとカラオケでのお付き合いもできればと思います。入所者にとって最高の人生を送っていただくために大事なことは、風通しのよい職場環境を醸成することで職員の気持ちを充実させ、他職種との連携を図ることです。言うのは簡単ですが難しいことです。まず、私が入所者や職員の声に耳を傾けることが重要だと思います。

私も今年で58歳を迎えますので、おそらくこの奄美和光園が人生最後の施設となる公算が強いと思います。入所者の皆さん、職員の皆さん、私自身にとっても悔いなき人生であることを願い新任の挨拶とさせていただきます。

外科医長 伊藤 久美子 (イトウ クミコ)



3月31日付けで赴任いたしました、外科医長の伊藤と申します。
奄美大島への初訪問は、昨年の大型台風の合間でした。奄美大島の自然や郷土料理はもとより、一番感激したのは、奄美の人々の親切と優しい温かさです。この度、豊かな自然につつまれた奄美和光園で勤務させていただける機会をいただき、とても嬉しく感謝しております。
当園の基本理念に沿って、少しでも皆様のお役に立つことが出来ればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



会計係長 河野 雅司 (カワノ マサシ)

4月1日付で熊本南病院より会計係長として赴任しました河野と申します。奄美大島は初めてですが、海だけではなく山も大きく、雄大な自然を前に圧倒されております。豊かな自然や美味しい物で心を満たしながら、仕事もバリバリ頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

医事係長 上原 大志 (ウエハラ タイシ)



4月1日付で星塚敬愛園より医事係長として参りました。奄美大島は初めてで、素晴らしい豊かな自然あふれる地での生活を楽しみにしております。
業務では、慣れない医事算定等に苦慮しておりますが、少しでも早く奄美和光園へ貢献できるように参りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



臨床検査技師 古 材 直 朋 (コザイ ナオトモ)

4月1日付で大牟田病院より臨床検査技師として赴任しました古財と申します。出身は熊本で奄美は初めてになります。奄美は海がとてもきれいで感動しました。釣りに興味があるため、自然の豊かさを感じながら釣りを楽しみたいと思っております。
療養所で働くのが初めてでありまして、不慣れなこともあるかと思いますが、奄美和光園の一員として貢献していけるよう努力して参りたいと思います。これから、どうぞよろしくお願いいたします。

栄養係長 古屋 美南子 (フルヤ ミナコ)



4月1日付で小倉医療センターより赴任してまいりました古屋美南子と申します。
奄美大島に来るのは初めてですが、山の緑の深さや海のきれいな色、朝には鳥のさえずりが聞こえてきており、自然の豊かさに日々癒されています。食文化も出身の福岡とは大きく違っており、楽しみにしています。来島日には早速「ウアンフネ」と「鶏飯」を美味しくいただきました。
入所者の皆様に喜んでいただけるお食事をこれからも続けていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

**理学療法士 山入端 貢 (ヤマノハ ミツグ)**

4月1日付けで沖縄愛楽園より理学療法士として赴任しました山入端と申します。

沖縄県出身です。奄美大島は初めてですが、奄美の生活を楽しんでいきたいと思っています。奄美和光園の皆さんに、まずは名前を知ってもらい入所者さん、職員の皆さんに貢献できるよう頑張っていくますのでよろしくお願いします。

治療棟 看護師長 星野 睦美 (ホシノ ムツミ)

今年4月から、治療棟の看護師長として参りました。3月までは鹿児島医療センター附属鹿児島看護学校で教員として働いておりました。看護学校では講義や実習を行いながら、「その人らしさを大切にする看護」について、学生とともに考えてきました。和光園に参りまして、皆様が当たり前のように「〇〇さんにとって大切なもの」を言葉にしながら入所者さんに関わっているのを見て、看護の原点だよなと感動しながら過ごしています。私も一人のケアをする者として関わらせていただけることを嬉しいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

追記；写真を見ていただくとわかるように、私は天然パーマなので、髪のコントロールができないところがあります。どうぞ髪型は暖かく見守ってくださるとありがたいです。

**病棟 看護師 山田 琴音 (ヤマダ コトネ)**

この4月より、長島愛生園から奄美和光園に異動になりました。出身は奄美大島ですが、奄美高校を卒業してから5年間、岡山県の長島愛生園に勤めていました。この度、地元である奄美大島へ帰ってくることができ、とても嬉しく思っています。

まだまだ看護師として未熟ですが、入所者さんがそのひとらしく安心して穏やかに生活できるよう、和光園で一生懸命頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

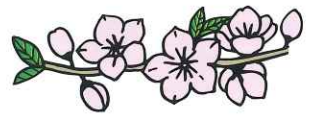
不自由者棟 看護師 中田 真作 (ナカダ シンサク)

はじめまして、令和6年4月1日から不自由者棟に看護師として入職しました。私は瀬戸内町出身で、以前は瀬戸内町の整形外科で病棟・手術室にて勤務をしていました。

島の文化である舟漕ぎが大好きで、舟漕ぎ大会のシーズンは各地域の大会に参加しています。奄美和光園も舟漕ぎに参加しているそうなので、チームに貢献できたらと思います。

まだ、奄美和光園でのお仕事に慣れるのがやっとなのですが、これまでの経験も活かしながら、入所者の皆さんの日常生活のお役にたてるよう頑張っていきたいと思っています。

笑顔あふれるお花見会



令和6年2月8日14時より、あすなろホールにてお花見会が開かれました。園内では1月下旬から2月初旬にかけて記念公園や山道、舎前などあちらこちらに鮮やかなピンク色の緋寒桜が咲き誇り、入所者や職員、来園者を楽しませてくれます。この時期は寒暖の差で、木々のつぼみが一気に満開となり、お散歩される入所者も多く見られました。

お花見会当日はあいにくの雨模様。入所者の体調も考慮して室内での開催でしたが、多くの入所者さんにご参加いただきました。桜カラーで彩られた室内で、これまで写真に収めた緋寒桜がスクリーンに映し出され皆で鑑賞しました。余興では入所者の方々が日頃から鍛えられた美声で参加者を魅了し、また、保育園園児のかわいいオ

ニさんも登場し癒されました。ひと時ではありましたが、春の訪れを感じる時間でした。また、来年もみなさんと共に春を感じる機会に恵まれますよう心待ちにしたいと思います。

福祉室 MSW 町田 亜希



節分豆まき



来る☆2月2日に、サービス委員会企画による節分豆まきが行われました

あか鬼・あお鬼・福の神・可愛い園児2名とサービス委員軍団が、各入所者の元へ訪問しました。いざ豆まきが始になると、「鬼は～外！福は～内！」のかけ声を合図に手作りの豆を入所者と園児2名が一生懸命投げてくれました。優しく温かい眼差しで園児の姿を応援している入所者の表情に、私自身も温かい気持ちになりました♡今年は、園児の参加により入所者との交流が深まり、笑顔溢れる時間になったのではないのでしょうか。豆まきを通して、入所者の笑顔が私達の活力に繋がることを実感した有意義な時間となりました！

今回参加して頂いた入所者の皆さま、ご協力頂いた各部署の皆様や保育園の皆様、本当にありがとうございました!!これか

らも季節を感じながら楽しめる企画を皆様に提供できるよう、サービス委員を中心に精進して参ります。今年1年沢山の《福》が皆様に訪れますように☆

看護サービス委員

不自由者棟 介護員 岩元 由衣



令和5年度 県内めぐり

～ 4年ぶりの開催に喜びの声 ～

令和6年3月5日から3月6日の1泊2日の日程で、令和5年度県内めぐりが開催されました。

これは、例年、鹿児島県主催により実施されていた事業なのですが、コロナ禍の影響で中断が余儀なくされておりました。4年ぶりの開催となった今回、奄美和光園からの参加者は、入所者さん4名、職員10名、合計14名。参加者全員が、久しぶりの旅行に出発前からドキドキワクワクしていました。

出発当日。天候はあいにくの雨。無事に開催できるだろうか？と心配しながら、園を午前7時15分に出発。お見送りの職員に見送られ、園のマイクロバスで奄美空港に向かいます。奄美空港に到着し、搭乗手続きを済ませて搭乗を待っていると、ここで「天候不良のため遅延」というニュースが入ります。出発前の心配が現実にならないようにと願いながら待機していると、無事に1時間遅れで飛行機は出発することとなりました。

鹿児島空港に到着したのは、10時30分。そこには、県内めぐりには参加が叶わなかったものの、Sさんに面会するために星塚敬愛園から駆け付けた方々がいらっしゃって、久しぶりの旧友との再会に懐かしい話で盛り上がっていました。荷物を受け取ると、菊池恵楓園からの参加者と合流し、大型バスに乗車。昼食会場へ向かいます。昼食会場は、霧島さくら館さん。ここで星塚敬愛園さんとも合流。おいしいお弁当をいただきました。大勢で一緒に食べご飯は格別で、普段小食な入所者さんも、たくさん召し上がっていました。

昼食が終わると、気になっていた雨が降り続けていました。ここで、全員で霧島神宮を観光する予定となっていました。参

加者それぞれに希望をとり、霧島神宮を観光する班と、先にホテルに向かい休憩する班とに分かれて行動することとなりました。

ホテルへ向かった方々は、早めにチェックインも済ませ、お部屋でゆっくり休憩をされました。一方、霧島神宮を観光する班は、あいにく雨が止まずに車内からの観光となりましたが、ここでめったに起きない出来事があり、これは霧島神宮観光に参加された方だけの特典ということになりました。

霧島神宮観光班がホテルへ到着したのは午後3時。今回宿泊するのは霧島国際ホテルさん。宮崎との県境に近い場所にある歴史のある豪華ホテルです。この日は海外からの観光客の方もたくさん宿泊されていて、とても賑やかでした。そんななか早速チェックインを済ませ、夕食の時間まで自由時間です。

夕食は、ホテル内の宴会場を貸し切って、豪華フルコース料理です。個人的に、めったに食べる機会がないメニューだけに、テンションが上がりました。夕食は、懇親会も兼ねており、参加者一人一人が挨拶をして、その後、他園の方々と親睦を深めました。1日目の予定は、これですべて終了し、霧島の夜は静かに更けていきます。

そして2日目。ホテルの部屋から外を眺めると、湯けむりが濛々と立ち上がっており、温泉地ならではの景色が広がっていました。朝食はバイキングです。和食、洋食、中華、たくさんの料理が並び、どれを選んだら良いのか、悩んでしまうほどです。そんな中、時間の限られている私たちは、職員が率先して料理を選びにいき、豪華な朝食をみんなで美味しくいただくこと

ができました。朝食を済ませ身支度を整えると、ホテルのロビーで集合写真を撮り、バスに分乗してホテルを後にします。

2日目の行程は、まず、かごしま水族館でした。ここではイルカショーを見学し、施設自慢のジンベエザメが悠々と泳ぐ大水槽を見学しました。その後、大小さまざまな水槽を見学するのですが、行く先々で「この魚、旨そうじゃや」「これは良い出汁が出るはずど」という声が聞こえました。・・・ちなみに、声の主が誰なのか？は秘密です。かごしま水族館をたっぷり堪能すると、あっという間に正午前になっており、私たちは一路昼食会場へと移動します。

昼食会場は、奄美の里さん。鶏飯と豚骨をメインとした豪華なランチ。慣れ親しんだメニューに、安心します。一方、他園から参加された方は、珍しい奄美の料理に大変喜ばれていたようです。昼食が済み、楽しい県内めぐりの旅も、いよいよ終わりに近づきました。奄美の里を後にして、私たちは貸切バスで鹿児島空港へ向かいました。バスは鹿児島市街地を通り、高速道路を走って鹿児島空港へ。鹿児島空港に着くと、ゆっくりできる時間もなく、急いで飛行機に乗り込みます。そして、飛行機は

あっという間に私たちを奄美へ送ってくれました。奄美空港には、迎いの車両が待機していて、皆さん「楽しかったね」と疲れも見せずに、和光園までの帰路を過ごしていました。

今回の県内めぐり、コロナ禍の影響で4年ぶりの開催となりましたが、久々だったからこそ本当に充実した楽しい旅行となりました。そして、何より、入所者の皆さんが、他園の方々と交流され楽しい時間を過ごされていたことが、一番の思い出となりました。企画していただいた鹿児島県の皆さん、手配に奔走していただいた旅行会社の皆さん、安心して過ごせる場を提供していただいた各施設の皆さん、本当にお世話になりました。ありがとうございました。そして、参加された皆さんから「また行きたいや」という声が聞かれたことが、一番の喜びでした。

また来年、みんなで元気に参加したいです。ありがとうございました。

福祉室

医療社会事業専門員 保 裕之



飛行機の出発が遅れ、奄美空港で待機中



1日目の昼食会場「霧島さくら館」さん



1日目の昼食。鶏肉と鮭がおいしい。



霧島神宮「神楽殿」



霧島神宮で「めったに起きないこと」が起こるのですが、何が起きたのかは、秘密です。



豪快に立ち上がる「湯けむり」



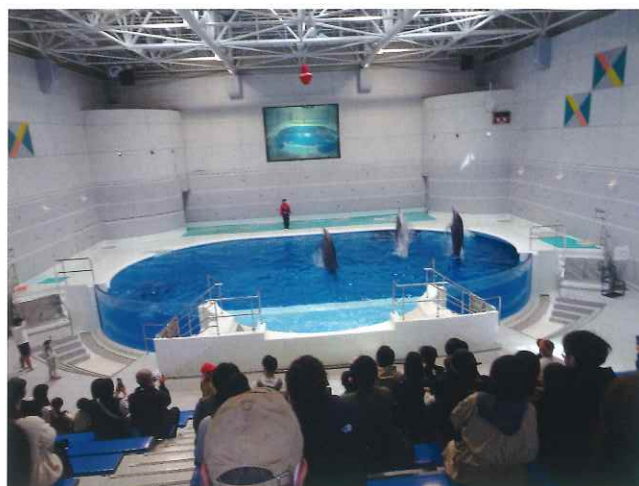
初日の夕食。前菜からこの豪華さ。その後は食べるのに夢中で写真がありません。



2日目の朝食はバイキング。この後「おかわり」したのはいうまでもありません。



かごしま水族館に到着



かごしま水族館のイルカショー



美味しそうな魚が・・・



2日目の昼食



県内めぐりも終わりに近づき、別れを惜しむ参加者の皆さん

まほろば大和ウォーキング大会

検査科の安藤です。2024年1月28日に大和村にある“奄美フォレストポリス”という自然公園で開催された第20回まほろば大和ウォーキング大会に参加してきました。日ごろの運動不足解消の為、「桜並木散策コース（約6km）」にエントリーしました。

当日は小雨が降る中、春一番のような強風が吹き、気温も低い悪天候の為、予定より少し遅れてのスタートとなりました。

スタート地点は広場で平地なのですが、他はほぼ坂道です。半分は下り坂、下りきったところはキャンプ場となっており、バンガローが立ち並ぶ木立ちを抜けたところにきれいな桜並木がありました。満開とまでは行きませんが大変きれいな桜でした。制限時間がありますのでゆっくり見とれている時間は無く、帰りは上り坂で

す。運動不足でなまりきった体にはかなりきつく、息を切らしながら登りました。

何とか時間内に帰り着き、暖かいお昼の豚汁をいただきました。屋外で食べる豚汁は大変おいしく、「何が入っているのかな、生姜？ニンニク？」と思いながらいただきました。

イベントも終了し帰路につきました。道中にあった「マテリヤの滝」や大金久集落にある「トゥルス岩」というポツカリと穴が開いている大きな岩山や奄美のきれいな海を見ながら帰ってきました。ちょっとした観光もでき、楽しい思い出となりました。

研究検査科

臨床検査技師長 安藤 陽一郎



ホエールウォッチング

奄美の冬のアクティビティ、ホエールウォッチングに参加させていただきました。ザトウクジラは1月～3月にかけてロシア海域から奄美大島付近の暖かい海へ、繁殖や出産・子育てのために訪れます。連日の悪天候により出港できるかが気がかりでしたが、2月17日当日は天候にも恵まれ午前9時に笠利町宇宿漁港（奄美空港近く）からいざ出港！温暖な奄美とはいえ、冬の海に出て冷たい北風にあたれば体感10℃以下で、船は大きく揺れます。

まずは、スタッフさんと参加者全員でブロウ（クジラの潮吹き）を探すところから始まります。出港してから約30分後、「ブロウ！」の声で指差した方向を見ると、冬の大海原を優雅に泳ぐ大きなザトウクジラが海面から姿を現してくれました。ブロウと浸水を繰り返しながら泳ぐ大きなザトウクジラにただただ感動するばかり。その後も、親子で交互にブロウと浸水を繰り返し泳ぐザトウクジラを発見。しばし観察をし

ていると親クジラが子クジラに「ついておいで」と教えてあげているような姿に、大変微笑ましく感じました。

そして出港から約3時間後、宇宿漁港に帰港。参加された和光園職員と和光園OBの方がお互いに撮影したクジラの動画を共有し、ホエールウォッチングは終了となりました。

遭遇率98%と高い確率で見られるホエールウォッチングですが、全く遭遇しないケースもあるそうです。今回3～4頭のザトウクジラを観察することができ、とても貴重な体験をすることができました。運がよければクジラのジャンプも見られます。島外在住の方のみならず、奄美在住の方でも楽しめるホエールウォッチング。是非、ご体験ください。

庶務課 屋山 莉奈
庶務課 石野 春奈



消防訓練（夜間想定）

令和6年2月22日、一般舎鶴寮から出火するのを夜間の事務当直者が発見する想定で、消防訓練を実施しました。夜間想定のため、当園敷地内の宿舍居住者が、消防隊、避難誘導隊、救護隊に分かれ、自分の宿舍から駆けつける形で行いました。

園内の緊急放送を確認した宿舍居住者が速やかに現場に到着し、複数人で協力して屋外消火栓を用いて模擬消火を行いました。普段なかなか使用しないものですので、こういう訓練の時に、使い方を確認できる機会を持つことが、とても重要だと感じました。また、模擬入所者さんの避難誘導も、当直用救急車などを用い、手際よく進めることができました。

入所者の皆さんが安心・安全に過ごせるように、これからも定期的に訓練を実施していきますので、多くの職員が参加して、いざという時に落ち着いて行動できるよう、引き続き、ご協力をお願いします。

庶務班長 毛利 安則



石川県能登半島地震の災害派遣

令和6年3月6日より9日まで災害派遣（医療支援）のため、石川県の珠洲市にある珠洲市総合病院へ行って参りました。

能登半島の最北端にある珠洲市へは飛行機で奄美空港～伊丹空港、バスを乗り継ぎ新大阪駅から特急サンダーバードで金沢駅へ到着したところで一泊し、翌日陸路にて3時間をかけ珠洲市到着と、2日間の長旅でした。珠洲市への道中、金沢から山間を通り能登や七尾などの街をつなぐ能登ふるさと街道という幹線道路は、地震の被害であちこちが土砂崩れによる道路の崩落で何とか片側の車線が通れる状況で、地震被害の大きさを感じました。

病院に夕方の4時頃に到着し、そこから前任者から引継ぎを受け翌日からの勤務に備えました。宿泊場所は院内のデイルームを薄いパーテーションで区切り簡易ベッドで寝袋使用と、プライバシーは最小限の環境でした。また食事はお湯を入れるだけで出来上がるアルファ米やインスタント食品などが支給されましたが、幸いコンビニやスーパーも営業を始めていたので、お惣菜などを買っておなかを満たしました。

支援内容はおむつ交換や清拭などの清潔ケアや、食事の配膳、環境整備などでした。職員の方々は自身が被災者となり今後の不安を抱える中でも、私たちメンバーにも優しく接していただき、落ち着いて仕事をこなすことができました。また、入院患者さんもととても穏やかな方ばかりで、本来支援を行う側の私たちがとても癒された気持ちになりました。

病院での医療支援は4日間と短い期間でしたが、自分の住んでいる地域が被災した時に看護師として何をすべきか、奄美和光園に所属する職員として果たすべき役割とは何かを考えさせられる機会となりました。

もし奄美大島が地震や津波に襲われたら…。

今回の経験を職員の皆さんにお伝えし、できるだけ備えができるよう一緒に考えていければと思います。

不自由者棟 看護師長 坂口 一彦



出発の日、皆さんに見送っていただきました。



金沢より陸路にて珠洲市へ、幹線道路の積雪



土砂崩れによる道路の崩落、
何とか片側の車線が通れる状況



珠洲市総合病院に到着



先に支援に訪れていた日本赤十字社や自衛隊の方々と



道路にはあちこちに地割れ、陥没、隆起の痕が



河川敷も崩落



山肌の土砂崩れ



被災した住宅地、このような光景が延々と続いていました

感染管理認定看護師の資格を取得して

私は、ICT（感染制御チーム）に所属し丸4年が経過しました。一昨年は感染管理について学ばせて頂き、昨秋無事に認定看護師の資格を取得することができました。長期の研修受講と応援頂いたことに感謝いたします。私は今、「入所者をすべての感染症から守る」という強い信念を持ち働いています。

ICTとは、厚労省がすべての医療機関に設置を義務付けている「感染対策の実働部隊」です。感染症に関わる職員教育や園内の環境改善、感染症を職員が伝播しないための手指衛生や個人防護具の着用確認など、チームで協力し活動しています。

昨年日本では、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行しましたが、秋以降はインフルエンザでの学級閉鎖、ノロウイルスによる集団食中毒、海外からの麻疹（はしか）の持込みなど様々なニュースがありました。他に医療機関で注意すべき感染症に、薬剤耐性菌感染症があります。MRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）が有名ですが、バンコマイシン、ペニシリンなど様々な薬剤耐性菌が世界中で生まれ進化しています。厚労省は、「何も対策を取らず耐性菌が現在のペースで増加した場合、2050年には1,000万人の死亡が想定され

がんの死亡者数を超える」と伝えています。当園のように長期療養生活をしている入所者は、気付かないうちに薬剤耐性菌を体に保有し、体力や免疫力が低下した時に痰や尿中に現れ肺炎や尿路感染などを起こすことがあります。

高齢者施設の職員は「感染症を持ち込まない、持ち出さない、広げない」よう日頃から感染対策を実施することが、入所者と職員自身を守ることに繋がります。私は認定看護師としてまだ1年生ですが、皆さんの協力を頂き、出来ることから1つつ感染対策活動ががんばりたいと思います！今後もよろしくお願いいたします。

不自由者棟
看護師
光村 真弓



医療安全実践報告会

2月29日に開催された令和5年度医療安全実践報告会では、4部署から年間を通した活動報告を行いました。

リハビリ科より「リハビリテーション室における情報共有充実化への取り組み」として、スタッフ増員に伴う情報共有の困難さとその対策について報告頂きました。

栄養科からは「誤配膳防止の取り組み」として付箋を用いた各配膳の正誤確認を中心にご報告頂きました。

福祉室は「入所者送迎への取り組み」について、看護課から「皮膚科外来でのヒヤリハット事例紹介と看護課3部署合同での取り組み」と題し、看護課にて発生したヒヤリハット事例及び部署連携でどのように対策立案を行ったのかご報告頂き、最後に副総看護師長より令和5年度医療安全活動を総括頂きました。

本報告会では参加者43名、入所者の安全のためにしっかり取り組んでいる内容が

具体的で分かりやすかったという喜ばしいアンケート回答も頂きました。

令和6年度も引き続き奄美和光園全体で医療安全向上に日々努めて参ります。

医療安全推進担当者委員

薬剤師 杉町 代



看護研究発表会

令和6年2月15日(木)午前中1時間の日程で29名の参加者を前に、口演による看護研究発表会を開催しました。今年度も講師の永田美和子先生のご指導により、研究論文完成、発表の場へと導いて頂きました。

病棟は、皮膚科外来に通院する高齢者のスキンケアをテーマに研究に取り組み、外来看護師の指導役割や、医師と連携した患者指導の重要性を導き出すことができました。

不自由者棟は、入所者の移転をスムーズに進めるための支援の方法と看護師の役割を探求し、その人らしく生きることを支えるために、他部署と連携しながらより良い支援につなげていくことの重要性を導き出すことができました。

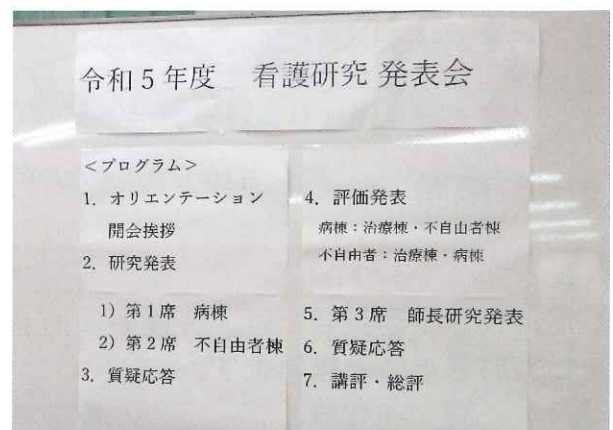
看護師長研究では、中堅看護師の仕事意欲と関連する要因をテーマに取り組み、職

員がキャリアデザインを描くための育成の工夫や支援体制を整えることの重要性を導き出すことができました。

各研修生とも一年間の集大成である研究の結果をスライドにより表現し、落ち着いた語りで研究結果を効果的にアピールできていました。また聴講者からの質問にも、的確に応えられていて研修生の努力が垣間見られました。研修生にとって、多くの講評や評価を基に更に論文の完成度をあげていく学びの機会となりました。

これからも看護職員としての探求心を忘れず看護の質の向上を目指し、入所者みなさんのよりよい支援へと繋げていきたいです。

不自由者棟 看護師長 坂口 一彦



NST News Letter

No.29

現在NST委員会では、令和5年度よりKTバランスチャート（口から食べる幸せをサポートする包括的スキル）を取り入れています。

【目的】

対象者の不足部分を補いながら、可能性や強みを引き出す包括的支援スキルとケアリングを内包すること。そのうえで、多職種と総合的に評価しながら、治療、ケア、リハビリテーションを展開し、その成果を可視化する。

【KTバランスチャートの概要】

評価内容は、大きく4項目で構成されています。

- 1) 心身の医学的視点〔①食べる意欲 ②全身状態 ③呼吸状態 ④口腔状態〕
- 2) 摂食嚥下の機能的視点〔⑤認知機能（食事中）⑥咀嚼・送り込み ⑦嚥下〕
- 3) 姿勢・活動的視点〔⑧姿勢・耐久性 ⑨食事動作 ⑩活動〕
- 4) 摂食状況・食物形態・栄養的視点〔⑪摂食状況レベル ⑫食物形態 ⑬栄養〕

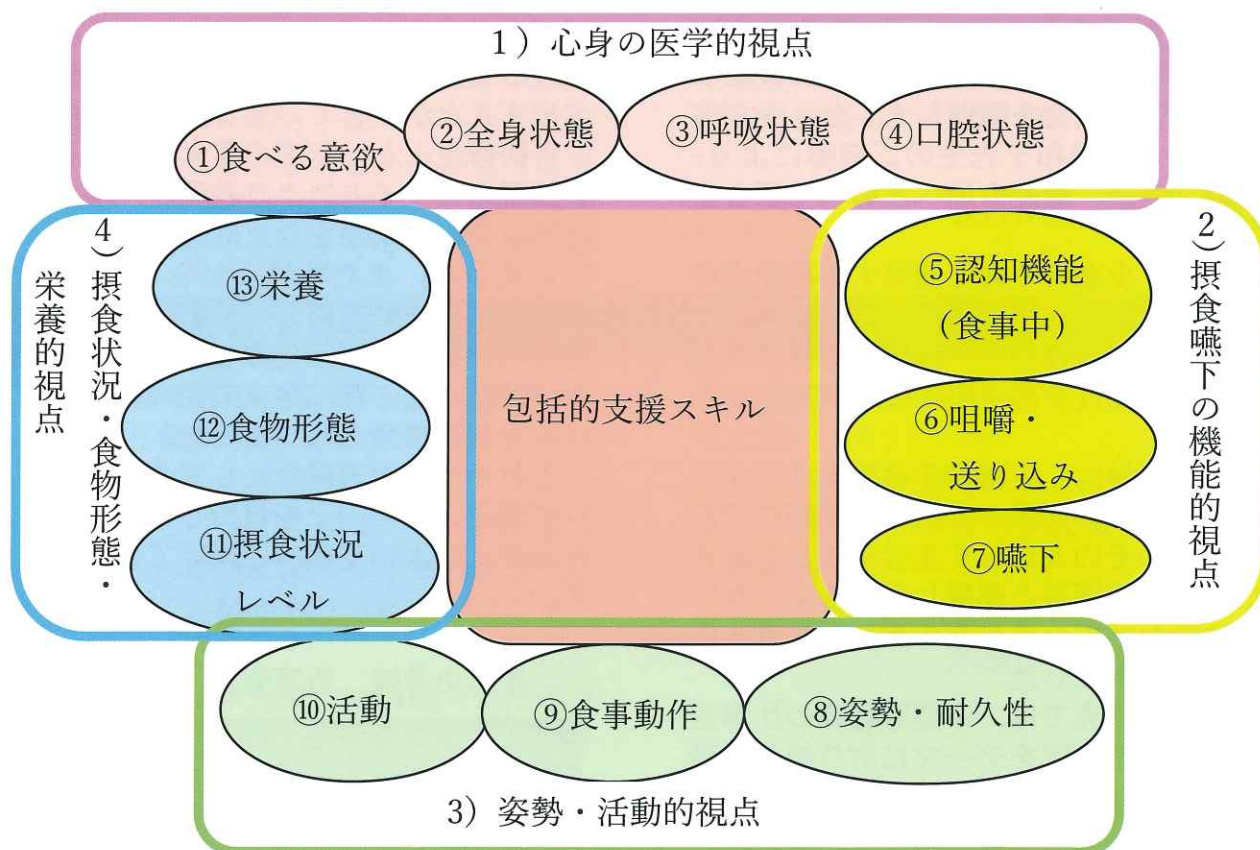


図1 口から食べるための包括的評価視点と支援スキルの要素

KTバランスチャートを1年間通して活用し、個々の総合的な評価をすることができました。NST委員会では、今後も入所者が安全に食事できるよう多職種と協力して活動をしていきたいと思っています。

看護課 NST委員 政木 美香・徳武 真由美

令和 5 年度 診療 統計

	外来診療					再掲		入院診療	分子標的薬	
	初診(人)	再診(人)	合計(人)	1日平均 (人)	診療実日数 (日)	紫外線療法 (件)	手術/生検 (件)	延患者数 (人)	導入	維持療法
4月	77	197	274	22.8	12	46	9		1	2
5月	75	227	302	23.2	13	56	6			3
6月	78	217	295	22.7	13	53	8			2
7月	47	217	264	22.0	12	43	4			1
8月	49	193	242	20.2	12	42	6	1		2
9月	52	188	240	21.8	11	40	3	3		1
10月	50	218	268	22.3	12	40	4			
11月	46	174	220	22.0	10	36	0		1	2
12月	63	207	270	22.5	12	41	11			1
1月	40	178	218	21.8	10	42	5	4		
2月	41	184	225	22.5	10	43	7			1
3月	57	219	276	21.2	13	52	5		1	
合計	675	2419	3094	22.1	140	534	68	8	3	15

分子標的薬治療 累計 18 名（実人数 導入 3 名、維持療法 3 名）

入院加療を要する重症患者はなく、悪性腫瘍の切除、植皮術のための 1 泊入院があった。
管理職業務および感染対策による予約数調整のため、2022 年度以降患者数は減少している。



学会発表

第 77 回国立病院総合医学会（10 月 20 日～ 21 日・広島市 現地開催）
ビルダグリプチンによる DPP-4 阻害薬関連水疱性類天疱瘡の 1 例＜続報＞
ベスト口演賞受賞

第 195 回日本皮膚科学会鹿児島地方会（12 月 3 日・鹿児島市 現地開催）
耳輪に生じた BCC を二期的オフィスサージャリーで対応した 1 例

人事異動

(令和6年2月1日～令和6年4月30日)

R 6. 3. 31	伊藤 久美子	外科医長	外務省より
	瀬之口 眞澄	事務長	定年退職
	荒垣 満雄	調理師	任期満了(再任用短時間勤務)
	昇 香	保育助手	退職(非常勤職員)
	田中 信	給食係長	沖縄愛楽園へ
	石丸 和彦	会計係長	沖縄愛楽園へ
	和氣 輝忠	臨床検査主任	沖縄愛楽園へ
	秋山 優太	栄養係長	九州医療センターへ
	西島 卓生	理学療法士	沖縄愛楽園へ
R 6. 4. 1	上山 卓朗	事務長	星塚敬愛園より
	河野 雅司	会計係長	熊本南病院より
	上原 大志	医事係長	星塚敬愛園より
	古財 直朋	臨床検査技師	大牟田病院より
	古屋 美南子	栄養係長	小倉医療センターより
	山入端 貢	理学療法士	沖縄愛楽園より
	星野 睦美	看護師長	鹿児島医療センターより
	山田 琴音	看護師	長島愛生園より
	中田 真作	看護師	採用
R 6. 4. 30	村口 武	会計班長	退職

和光園日誌

(令和6年2月1日～令和6年4月30日)

R 6. 2. 2	節分豆まき
2. 8	お花見会
2. 15	園外ショッピング
	看護研究発表会
2. 22	消防訓練(夜間想定)
2. 28	第18回アニマルセラピー
2. 29	医療安全実践報告会
3. 5～6	県内めぐり
3. 21	離任式、園外ショッピング
3. 25	国立感染症研究所ハンセン病研究センター来園(センター長)
3. 28	第19回アニマルセラピー
3. 29	辞令交付式(退職者・転出者)
4. 1	辞令交付式(採用者・転入者)
4. 4	新任者オリエンテーション
4. 5	法務局来園(奄美支局長)
4. 10	法務局来園(鹿児島地方法務局長)
4. 11	着任式
4. 18	園外ショッピング
4. 25	第20回アニマルセラピー

編集後記

今年の冬は例年に比べ温暖で、入所者の皆さまも穏やかに過ごせたのではないのでしょうか。そうこうしているうちに桜の季節も終わり、4月には数名の職員の方々が新天地へと向かわれました。和光誌編集委員も数名が入れ替わり、私も初めて担当となりました。皆さまに楽しいお知らせが毎号できますように励んでまいります。何卒、よろしくお願いいたします。

編集委員 安藤 陽一郎